

学生ランチの活動紹介

——コロナを乗り越えた今、
新たな活動の在り方を考える——

四国支部

1. はじめに

皆さん、こんにちは。私は、電子情報通信学会四国支部の学生会顧問を務めている西川まどかです。

愛媛大学の学生ランチは2006年に設立され、今年度で19年目を迎えました。設立当初から参画している、通信システム工学研究室、情報ストレージ研究の学生と、昨年度から、酸化物エレクトロニクス研究室と光デバイス工学研究の学生が新たに加わって、現在、49名で活動しています。

思い起こせば、私が顧問に就任したのはコロナ禍の2020年でした。当時の年度当初、学生は自宅待機となり全面的にオンライン授業となるなど、外出自粛を余儀なくされました。その後も、感染対策を十分に講じて対面授業が徐々に再開されましたが、厳しい活動制限はしばらく続きました。しかし、このような状況でも、本活動の継続にあたって、関係の皆さまの御理解・御協力を賜りまして今日に至りますことを、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、昨年5月8日からコロナが「5類感染症」と位置付けられ、種々の活動制限も解除されました。そして現在は、世の中がコロナ前、いえ、新たな日常へと進化を遂げていく機運がますます高まっています。そのため、私たち愛媛大学学生ランチとしても、更なる飛躍のため、これまでの伝統を受け継ぎつつも、新たな活動の在り方を考える時期が到来していると思っております。

本稿では、2020～2023年度の、過去4年間の愛媛大学の学生ランチの活動を振り返るとともに、活動する中で寄せられたメンバーからの声に耳を傾ける中で、新たな活動の在り方を考えていきます。読者のみなさんも一緒に今後の活動について思いを寄せて頂けると幸いです。

2. 交流会

例年、年度始めに、学内で通称「ウエルカムパーティ」として交流会を開催しています。この交流会は、

研究室に配属されたばかりの学部生にとっては初めての学生ランチ活動となります。交流会では、学生ランチの趣旨説明をはじめ、年間計画として企業訪問や講演会が予定されていることをアナウンスします。交流会では、メンバー同士の親睦を深めたり、今後の活動についてメンバーからの希望を募ったりする場となっています。

過去4年間の活動状況としては、2020～2022年度はコロナにつき中止としましたが、2023年度は、まさに4年振りの開催が実現しました。

図1は、交流会において、私が趣旨説明をしている様子の写真です。ちなみに、コロナ前の2019年度までの交流会では、学内の食堂で夕食するスタイルでした。しかし、2023年度に交流会を再開するにあたっては、当時はまだ、コロナが5類感染症に移行されていなかったことと、会食に慎重な姿勢を示しているメンバーもいたことから、図1のように、趣旨説明にてメンバーの顔合わせをした後、その場で会食するか、分散して食事するかは個々の判断に委ねることにしました。ならば、食事の提供としては、テイクアウトのお弁当がよいだろう、そして、昼に開催した方が参加しやすいだろうと考えました。このように、私たちは「新たなスタイル」で交流



図1 交流会での趣旨説明の様子（2023年6月22日に撮影）

会の再開させました。

なお、2024年度の交流会については、コロナが5類感染症に移行された今、会場を貸し切っの会食の再開も視野に入れて計画中です。

3. 企業訪問

企業訪問は、例年、メンバーの就職活動や大学院入試が落ち着くと思われる、8月下旬から9月の夏季休業中に実施しています。また企業訪問は、メンバーにとって将来の進路選択する上での一助となり、かつ、実際の現場を知ることのできる大変貴重な機会となっています。表1に、過去4年間の訪問先と所在地を示します。

2020年度は、コロナの活動制限がある中でしたが、訪問先の中央浄化センター及び南クリーンセンターの担当の方と事前に十分打合せをした上で訪問が実現しました。移動手段は学内所有のマイクロバスを使用しましたが、コロナ禍での利用規定上、乗車定員28名に対して半数とせざるを得ませんでした。また、訪問で万一、感染者が出た場合の対策として、訪問者リストを事前に提出しました。訪問当日は、密を避けるため、訪問時間を1時間に短縮し、一旦大学に戻って各自で昼食休憩をとりました。更に、訪問先では、屋内の見学場所では少人数に分ける、屋外の見学場所を増やす等の配慮をして頂きました。参加したメンバーからは、「コロナ禍で活動が制限される中で訪問させて頂いたことに感謝している」、「コロナ禍でも滞りなく、社会のインフラを支える仕事を実際に見ることができてよかった」との感想が寄せられました。

2021年度は、実は当初、訪問企業として松山市外の2社を予定していました。しかも、マイクロバスも予約済みでした。しかし、訪問の直前になってコロナが再び感染拡大したことから、企業の担当の方と相談の末、中止としました。

2022年度の企業訪問の実施にあたり、コロナの感染状況に左右されやすいこの企業訪問の実施方法を見直すこととしました。見直しポイントとしては、訪問場所、訪問時間、移動手段です。2020年度では、コロナ禍でのマイクロバスの利用規定上、参加人数を限定しなくてはなりませんでした。そこで、より多くのメンバーが企業訪問に参加できるよう、訪問先を大学近隣として、現地集合・現地解散のスタイルを試みました。

訪問先のテレビ愛媛は、大学から自転車で20分程度と近く、本学のOBの方が勤務されているといった御縁もあって訪問を快く受け入れて下さいました。当日は、収録現場や報道デスク、屋上のアンテナ等を見学させて頂きました。図2は屋上を見学している様子です。当日は天気にも恵まれ、参加メンバーは、松山市内を一望できました。更に、お昼の生放送にも立ち会うことができ

表1 過去4年間の企業訪問の訪問先と所在地

【2023年度】
・ 愛媛県警察本部（松山市）
【2022年度】
・ テレビ愛媛（松山市）
【2021年度】
（コロナ感染拡大につき中止）
【2020年度】
・ 中央浄化センター（松山市）
・ 南クリーンセンター（松山市）



図2 テレビ愛媛の屋上を見学している様子（2022年8月30日に撮影）

ました。今回の訪問では、報道関係に興味のあるメンバーの希望もかない、また、メンバーの多くの参加が実現しました。訪問後に実施したアンケートには、参加メンバーのほとんどが、「現地集合・現地解散でよい」、「今後の進路決定や社会人としての心構えの参考になった」との回答がありました。

2023年度は、昨年度の実績に基づき、訪問先は大学近郊である愛媛県警察本部とし、現地集合・現地解散としました。訪問先では、まず担当の方から、警察の業務全般や採用試験についてお話して頂きました。その後、通信指令課と交通管制センターを見学させて頂きました。更に、白バイとパトカーの乗車体験もさせて頂きました。

図3は、通信指令室を上から見た様子の写真です。どの署の何番のパトカーが愛媛県内のどこにいるかを掲示板の地図上に表示したり、110番通報の対応状況を色別で表示したりと、リアルタイムで捉えている光景を見ることができました。

図4は、交通管制センターでの見学の様子写真です。こちらでも、渋滞や通行止めなどの道路状況をリアルタイムに表示していることを知りました。また、写真の上部の画面で、交通量の多い場所をピックアップして、実際の様子をリアルタイムに見ることができることを知りました。

図5は、パトカーの乗車体験をさせて頂いている様子の写真です。車好きの参加メンバーも多く、童心に帰ったように乗車体験を楽しんでいる様子が印象的でした。



図3 通信指令室を上から見た様子（2023年9月27日に撮影）



図4 交通管制センターでの見学の様子（2023年9月27日に撮影）

また、2024年度も大学近郊の企業訪問を予定しておりますが、マイクロバスの利用制限も解除されましたので、今後は、「日帰りバスツアー」の復活も視野に入りたいと考えております。

4. 講演会

例年12月に、講演会を開催しています。講演会では、通信に関する分野で活躍されているスペシャリストから最新の研究動向や企業の取り組みを知ることのできる絶好の機会であると考えております。表2に、過去4年間の講演題目と講師、実施形式を示します。

2020年度の講演会は、オンライン形式での開催となりました。メンバーは皆、自宅から講演会に参加しました。

2021、2022年度は、講師の方が愛媛県外在住でまだ県外出張ができないとのことから、リモートで御講演頂きました。また、私たちは、講義室に集まって聴講しました。図6は、2021年に実施したハイブリッド形式で



図5 パトカーの乗車体験をさせて頂いている様子（2023年9月27日に撮影）

表2 過去4年間の講演題目と講師、実施形式

【2023年度】 題目：「ネット社会で生きること」 講師：某氏（愛媛県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課） 形式：対面
【2022年度】 題目：「HDDの大容量化のための技術とその実装」 講師：前東信宏氏（東芝デバイス&ストレージ株式会社） 形式：オンライン（講師）と対面（聴講者）のハイブリッド
【2021年度】 題目：「8K+5GとAIoTで世界を変える」 講師：増田圭太氏（シャープ株式会社） 形式：オンライン（講師）の対面（聴講者）ハイブリッド
【2020年度】 題目：「NTT西日本グループにおける災害対策の取り組みについて」 講師：青木崇氏（株式会社NTTフィールドテクノ） 形式：オンライン



図6 ハイブリッド形式での講演会の様子（2021年12月2日に撮影）

の講演会の様子です。また、2021、2022年度の講師の方は本学、情報ストレージ研究室のOBということもあって、直接お会いできないながらも、活発な質疑応答が繰り広げられました。

2023年度は、4年振りに完全対面形式での講演会が実現できました。しかし私は、不覚にもインフルエンザに

かかってしまい、講演会に参加することができませんでした。メンバーからは、講演を通して、サイバー犯罪の現状を知るとともに、情報モラルの重要性を再認識できたと聞いております。当日は、大学院のメンバーが講師の方のお迎え・お見送りをはじめ、講演会の運営全般をして下さりました。本当にありがとうございました。

2024年度も対面での講演会が実現できるよう、企画してまいります。

5. おわりに

以上、愛媛大学の学生ランチ活動として、2020～2023年度の、過去4年間の交流会、企業訪問、講演会について振り返りました。

また、コロナ禍での活動を通して、「コロナだからできない」ではなく、「どうすればできるか」を考えることの大切さを学ぶ中で、新たな活動の在り方を考えました。私たち愛媛大学学生ランチは、今後も世の中の動向を踏まえた、より良い活動を展開するとともに、本会の学生員の増加に寄与するよう努力してまいります。

最後まで読んで下さり、どうもありがとうございました。今後とも御指導のほどよろしくお願い致します。